

東京オリンピック聖火リレー

今福和幸さんと木尾優仁さんが 聖火をつなぎました

鹿児島県では、4月27日・28日の2日間にかけて聖火リレーが行われました。本町からは、木尾優仁さん（上假宿）が志布志地区を、今福和幸さん（上郷）が始良地区を走りました。お二人の心境や、出発式の様子をお届けします。



トーチは
桜がモチーフ

今福 ^{かずゆき}和幸さん



健康の為にフルマラソンを始めた和幸さん。走ることがご縁で地域のランナーと友情を深め、アスリートサポートチームを結成し、月1回の練習会や練習コースの清掃などを行っています。「団体競技や個人競技など、スポーツをする事の楽しさを伝えていけたら」と、応募しました。

聖火リレーは「オリンピックができるかどうかは分からないけれど、聖火はしっかりと繋がないと。選手のことを考えると、オリンピックができるように」と思いながら走ったようです。「始良市を走り、誰も私のことを知らないのにみんな手を振ってくれ、ちょっとした芸能人気分を味わった。“火を渡す”ということは、とても厳粛で、神聖なものに感じた」と当日の心境を話していただきました。



4名の児童生徒がサポートランナーとして走りました

神田 ^{すずか}寿歌さん（中沖小3年）・柚木原 ^{いおり}維士利さん（野方小5年）・東條 ^{たける}壮留さん（大丸小6年）・
栢山 ^{あおば}葵葉さん（大崎中1年）がランナーをサポート!!

